

稲光会報

41 巻 59 号

平成 30 年 3 月 15 日発行
編集 早稲田大学稲光会
発行者 植竹 清
題 字 滝口 宏
<http://wasedafencing.com>



右から中村監督、村上（1年）、澤浦（2年）、駒場（3年）、才藤（3年）写真提供／早稲田スポーツ

2017年8月開催のユニバーシアード大会（台北）に、当部は男子フルーレ（松山恭助・3年）、女子フルーレ（狩野愛巳・3年）、女子エペ（才藤歩夢・3年）そして男子エペ（加納虹輝・2年）と4人の日本代表選手を派遣することができ、

復帰を成し遂げることもできました。そして、リーグ戦での課題の確認と克服を目指して後期の強化練習・合宿に乗り込んだ部員達にとっては、世界で活躍する先輩・同僚達の努力と活躍は大いなる励みと奮発材料になったことと思います。

後期のシーズンも中々ベストメンバーを組む機会はありませんでしたが、関東学生選手権での男子エペの団体優勝と個人優勝（加納虹輝）は実に見事な勝利であり、ベストメンバーチームでの圧倒的な実力を大いに示しました。そして迎えたインカレでは、1年生だけのメンバーで臨んだ女子フルーレ陣が3位入賞とよく健闘し頑張りました。と同時に、他の種目の若手も十分に力をつけてきたことが確認されました。しかし、中々優勝という大きな目標には届かず、3・4位争いが善戦ではありましたが、良く頑張りました。全種目が12月の全日本選手権（団体戦）への出場権を掴みました。



新しいジャージ姿の部員一同 写真提供／早稲田スポーツ

続を経験し、乗り切った選手達の才能と努力の賜と評価されます。最後に大きなチャンスを掴みましたが、この勝利に満足する事なく、当部の日本代表、五輪出場を目指す「トップクラスの部員達の世界での活躍」と「1・2年生の若手部員達の成長への努力・成果」が互いに相乗効果をもたらすことが理想であると考えています。その為には、早稲田チームとしての全員による団結力・向上心そして信頼感を創ることが重要なこととなります。さらなる、そして後に続く全部員の一層の努力を期待するところです。

（監督 中村立雄）

全日本選手権・女子エペ団体優勝 （ユニバ）男子フルーレ団体金、松山恭助個人銀



ビジネススクールの仲間たちと（筆者は左から二人目）

線餅つき」という行事を見学していたところをNHKにインタビューされ、娘と一緒に全国放送されたこと等があります。しかし、今回皆様に「一番報告したいことは、昨年3月に修了した大学院での研究と、現在の活動についてです。私は、2015年4月に香川大学大学院地域マネジメント研究科（略して地マネ）に入学しました。地マネはいわゆるビジネススクールなのですが、非常にユニークなところで、地域をマネジメントできるリーダーの養成を教育理念として掲げています。

地マネでの思い出は、限られた文字数の中ではどうい語リ尽くせませんが、一言で表すと、「地マネを楽しみ尽くした二年間だった」と言えます。さて、枕が長くなりましたので、そろそろ本題に入りますね。少子高齢化や、東京への一極集中により、地方は人口減少という大きな課題に直面しています。この課題を解決するため、地方は行政主導で、定住人口や交流人口を増やそうとしています（最近では関係人口という概念も注目されています）。私は、このトップダウン型による課題解決だけではなく、ボトムアップ型の課題解決も重要であると考えました。そこで注目したのが、「シビックプライド」という概念です。シビックプライドとは、将来に向けて、「まち

を良くしたい」とまちに関わる人々がそのまちに対して当事者意識と誇りを持ち、将来に向けてそのまちの魅力を高めようとする心のことを言います。研究では、高松市に対するシビックプライドを持つて実際に活動されている（と思われる）人達へのインタビューを通して、定性的な分析を行いました。この研究をしなければ出会えなかったであろう人達と繋がることのできたり、今まで難しいと思っていたことが、意外と簡単にできると思えたり、私にとって実り多い研究でした。

修了後、一緒に研究した地マネの同級生2人を含む5人で、任意団体「シビックプライド高松」を立ち上げました。そして研究の成果を活かして、シンポジウムを開催したり、島歩きをしたりと、シビックプライドの紹介や、まちの魅力を伝える活動をしています。この活動で、シビックプライドを持つ人が一人でも増えれば、素晴らしいことだと思います。さあ、皆さんもまちに出て、まちの魅力を探してみませんか？

「久しぶりの東京」 明代正美（昭和58年卒）

稲光会員の皆様、大変ご無沙汰しております。明代（みょうたい）です。

大学卒業後、出身地の山口県で中学校の教員となり、定年まであと3年少しとなりました。家族は、

妻と一男（23）・一女（19）の4人ですが、長男は薬剤師を目指して大学に通っており（来年、東京で就職したいと言っています）、現在3人での生活です。一旦田舎に引込むとなかなか東京に出る機会がありませんが、昨年の10月18日（水）から20日（金）にかけて全日本中学校長会の研修大会が東京国際フォーラムで開催され、15年ぶりに東京に行きました。久しぶりの東京で一番驚いたのは電車の切符を券売機で買っているのは自分だけで、みんな改札で財布やスマホをかざして「ピッ」で通過していること（私の住まいの近くの駅では使えません）。せっかくの機会なので事前に在京の同期と連絡をとったところ、



今から練習に行きます！

終わりました。最近の現役諸君の大活躍に感激しております。メディアで取り上げられることも多く、早稲田の○○選手という名前があると稲光会報を持ち出して、家族に「この子だぞ」と紹介しています。これからも、ますます頑張ってください。山口にお越しになる機会がございましたら、ご連絡をお待ちしております。

役職柄、休日の地域の行事等に来賓として参加したり、夜の地域の会議に出席したりで、自分の時間がなかなか作れませんが、最近ゴルフにはまり始めました。年に4・5回のラウンド、練習場は当日の朝と月に1回行くか行かないかでしたが、たまにあるナイスショットしたときの爽快感。止まっているボールを打つのになぜか思い通りに飛んでくれない、という奥深さ。今では月に2回は練習場に行き始め、12月に初めて80台で回りました。目標は高く、いつの日か70台（遙か彼方の夢）です。

戸越銀座の百番（白井君の店）で一献ということになり、春日君、園田君と4人で近況報告や昔話に花を咲かせました。学生時代から30年以上経過していますが、一瞬のうちに当時に戻ったような感覚となり、大変盛り上がりました。稲光会（台風で中止になったと伺いました）にも参加したかったのですが、土日が勤務校の文化祭のため、金曜の夕方に東京を後にしました。

OB & OG 便り

シビックプライド醸成への挑戦 出水宏和（平成11年卒）

稲光会会員の皆様、大変ご無沙汰しております。平成11年卒の出水です。今回、会報にて近況報告する機会を頂き、「ようやく私もそのレベルになったか」と、喜びに震えております！さて、私は2008年11月に故郷である香川県にUターン転職して、それ以降ずっと香川県で暮らしております。そんな私の近況報告は、昨年12月に福井県で開催された全日本選手権大会で、優勝候補の早稲田大学と対戦したこと（久しぶりに中村監督にお会いできて良かったです！）や、正月に隣の「三味



ビンゴでの真剣な表情 (右から) 桑波田 (H 10)、田中 (H 9)、野田 (S 55)、赤井 (S 51)、矢野 (S 34)、中村 (S 43)、丹羽 (S 45)、丸山 (S 40)、酒井 (S 35)、近藤 (S 37)、北原 (S 41)



北原会長より酒井先輩へ記念品の贈呈



美女軍団 (遠藤、仙葉、千葉) に囲まれた田中先輩 (H 9)



大活躍の溝口 (1年)、登尾 (1年)



(左) 楽しそうな内田先輩 (H 13)、富山先輩 (S 57)



慶田副会長より勝利チーム賞を進呈



韓国から帰任した寺田先輩 (S 60)

H 29年の稲光会の日とは台風で延期、11月26日にフェンシング教場で開催、52名(会員24名、部員28名)が出席しました。会の冒頭4月に亡くなられた辻村哲郎(S 35年卒)先輩への黙祷、S 35年卒の捧場夫、酒井福安、石毛弘一先輩へ感謝の気持ちをこめて記念品を代表の酒井先輩へ贈呈、懇親パーティでは地方から参加の丸山公一(S 40年)、富山泰男(S 57年)先輩、韓国から帰られた寺田洋先輩(S 60年)、久しぶりに東京に戻られた田中秀行(H 9年)先輩や内田陽子(H 13年)野口秀道(H 14年)先輩が近況報告、そしてビンゴゲームで会が盛り上がり、楽しいひと時を過ごしました。



稲光会の日開催

2017年度 後期の戦績

第29回ユニバーシアード競技大会

(8/16～26 台湾)

男子フルーレ個人2位 松山恭助(スポ・3年)
男子フルーレ団体優勝 松山恭助(スポ・3年)
男子エペ団体4位 加納虹輝(スポ・2年)

平成29年度新人戦

(10/11～18 駒沢オリンピック公園総合体育館)

男子サーブル個人優勝 小山圭史(スポ1年)

第69回関東学生選手権大会

(9/13 駒沢オリンピック公園総合体育館)

男子フルーレ優勝 松山恭助(スポ・3年)
男子エペ優勝 加納虹輝(スポ・2年)

第67回全日本学生選手権大会

(11/14～18 駒沢オリンピック公園総合体育館)

男子フルーレ個人2位 松山恭助(スポ・3年)

第70回早慶定期戦(女子は第32回)

(12/3 慶応義塾大学 地下体育館)

男子フルーレ (●28-45)
男子エペ (○45-33)
男子サーブル (○45-41)
男子総合優勝
*男子通算成績52勝18敗(23連勝)

女子フルーレ (○45-14)
女子エペ (●42-45)
女子サーブル (○45-36)
女子総合優勝
*女子通算成績18勝14敗(9連勝)

第70回全日本選手権大会個人戦

(12/7～10 駒沢オリンピック公園総合体育館)

男子フルーレ 2位 松山恭助(スポ・3年)
男子エペ 3位 安雅人(スポ・2年)

第70回全日本選手権大会団体戦

(12/15～17 福井県越前市武生中央公園総合体育館)

女子エペ優勝 (○43-42 明治大学)



左からビンゴスタート前の北原先輩 (S 41) 近藤先輩 (S 37)、酒井先輩 (S 35)、丸山先輩 (S 40)

ビンゴの名司会(北原会長の後継者に決定)は宮先輩 (S 53)。後ろは原田先輩 (S 56)



- ・1列左から赤井 (S 51)、富山 (S 57)、丹羽 (S 45)、北原 (S 41)、丸山 (S 40)、植竹 (S 39)、慶田 (S 38)、漆間 (S 33)、矢野 (S 34)、酒井 (S 35)、近藤 (S 37)、中村 (S 43)、宮 (S 53)、野田 (S 55)、
- ・2列左から寺田 (S 60)、甘粕 (H 28) 野口 (H 14)、内田 (H 13)、高原 (H 12) 桑波田 (H 10)、田中 (H 9)、松山、高木、溝口、登尾、廣瀬、内田 (S 57)、北原、
- ・3列左から佐々木、佐野、木村、千葉、仙葉、遠藤、
- ・4列左から才藤、澤浦、山根、松山、工藤、岸本、十河、中埜、武山、小野、加納、奥武、駒場、村上、小山、齋藤

SNAP SHOTS
2017

学連ゴルフコンペ団体3位
シニアの部で植竹優勝
昨年10月24日千葉県原市のヘルセルバCCにおいて2017年学連ゴルフコンペが10大学37名の参加で開催されました。稲光会からは当コンペで3回優勝の伊藤茂秀先輩(S 33年、77歳)になってゴルフに開眼、進境著しい慶田先輩(S 38年)と76歳でエージシュート達成の植竹が参加、団体戦は植竹4位、慶田先輩6位と健闘し、3位入賞、また植竹がシニア優勝(2年ぶり3回目)を果たしました。早稲田のメンバーはシニアのみ、シニアの団体戦があれば早稲田は間違いなく優勝しています。一般の部で優勝するために他の大学と同様にぜひ若手が参加するようお願い致します。

春季合宿のご案内
3月12日(月)～19日(月)
山梨県南都留郡山中湖村平野140
ニュー福寿荘
☎ 0555(65) 8301
ぜひ多くの先輩のご参加、ご指導を
よろしくお願い致します!